

学 園 通 信



No. 257

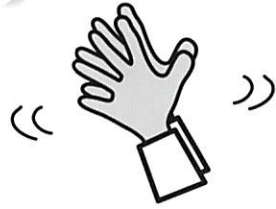
九里学園高等学校 P T A

2014. 3. 1 発行



卒業おめでとう!

ブラボー!!





みんなの笑顔の花が咲く日を願って

学校長 九里 廣志

今の時代は、君たち若者にとつて、果たして「将来に夢を持てる時代」になっているのだろうか・・・？と不安に思うことが多い今日この頃である。最近の日本や世界の状況が、あまりにも課題が多く、しかもその解決には向かっていないと感じるからである。

三年も経つのに、あの大地震と津波の大震災、そして原発事故からの復興は、遅々として進んでいない。最近も被災地や放射能汚染地域の現状を見てきたが、津波被災地での復興の進捗状況はバラバラ、まだまだ先が見えない。特に原発事故で放射線量が高い地域は、家は壊れたままの姿をさらし、大津波で流された船や車が、そして瓦礫が、まだあの時のままで手付かずなのだ。特に原発事故解決のめどはたえず、汚染水を一時保管するタンク数は限りなく増えている。世界中の人々が、私たち日本人以上に「地球の汚染」に不安を感じている。将来を生きる人たちのためにも、全ての英知を集めてこの問題解決を図らなければならないのに、当の事故を起こした張本人の日本人が、この現実から目をそらし、東京オリンピック開催決定などに浮かれて、解決を後回しにしてしまっているのではないのか。

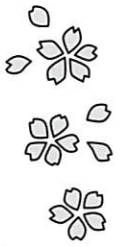
ちょうど私が高校三年生の一九六四年十月、東京オリンピックが開催される予定だった。日本国中がオリンピック成功に向けて必死になっていた六月、新潟地震が起きた。マグニチュード七・五の大地震で、日本海側九県に、家やビルの倒壊、火災、橋の落下、液状化現象【当時は流砂現象といった】、津波などの大きな被害を与えたのだ。この置賜地方の

ゆれもひどく、多くの被害が出た。特に新潟の製油所のコンビナート火災は、多くの黒煙を上げて、その煙は米沢の空にも届いたのだ。しかし、使者が二十六名と少なく、『奇跡』と呼ばれた震災だったのだ。その後、必死の復興が行われ、十月十日の開会式を迎えた。

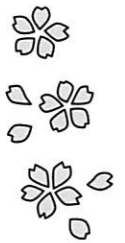
澄み渡った日本晴れの青空の下、各国の選手たちが、観客たちが、そしてテレビの前での私たちも、みんなが最終聖火ランナーを見守った。この置賜をもしレーされていった聖火だ。広島原爆投下のその日、きのこ雲の下で産声をあげた赤ちゃんが立派に成長して、国立競技場の聖火台に点火したのだ。このオリンピック開催は、悲惨だった戦争の惨禍から立ち直った日本、平和な日本を象徴する出来事だった。みんなが本当に満面の笑顔だった。

「T O K Y O 二〇二〇」・・・その時、果たして日本の青空に向けて、無事に聖火は燃え立つのだろうか。安倍首相が世界に公約した「原発の安全」は確保されて、観客は日本を安心して訪れ、たくさんの「おもてなし」を受けることができるのだろうか。首都直下、東海、・地震の不安は回避されるのだろうか。日本と近隣諸国との政治的対立は、世界の紛争は解決されているのだろうか。開催時、誰が東京都知事の職にあるのだろうか。そしてその時も世界中に満面の笑顔の花が咲くのだろうか・・・。

あと数日後に開催されるソチオリンピックの、仰々しいほどの警戒態勢をテレビで見ながら思ったことである。【二〇一三・二・四書く】



ご卒業おめでとう



今日一日、明日一日！

P T A 会長 金子 和幸

未来に向かって

第三学年部長 片倉 登

素敵な出会いに期待します

第二学年部長 船山 幸二

輝く未来へ

第一学年部長 齋藤 利幸

三年生の皆さんご卒業おめでとうございます。

今まさに時の人となっているS T A P 細胞発見の「小保方春子さん」彼女の研究室での仕事着は祖母にももらった「かっぽう着」。

そんな彼女の成功は、「頑張り屋」で「負けず嫌い」にありました。どんなにつらくとも「今日一日、明日一日だけを頑張ろう」と目の前の目標を持つことで、「やる気」を生みました。その結果が大発見へと繋がったのです。

人は失敗を恐れるとやる気を失います。そんな時こそ「今日一日、明日一日」と自分を奮い立たせてみましょう。必ずや「やる気」と「成功」が生まれます。

まさに九里学園で学んだ三年間は、「今後の新しい目標と成功」に向けての土台作りになったと確信しております。

三年生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。不安な顔で迎えた入学式から、あつという間に卒業を迎えることになりました。高校生活で、沢山の事を体験し、経験されたと思います。社会に出れば、必ずそれが役立つことでしょう。皆さんの未来は、一人一人違います。誰かに作ってもらうのではなく、自分で考え、判断して作るものです。但し、先輩の助言、同僚の意見も大切にして下さい。人間一人では生きられません。色々な人と関わりを持ち、自分を磨きながら成長すれば、明るく、楽しい未来がきつと待っています。自分の未来に向かって頑張り。

九里学園を卒業し、新しい世界に、夢の実現に向けて旅立つ皆さん、心からのお祝いと、激励の言葉を申し上げます。

皆さんは高校卒業後、いよいよ「大人」の世界に自分の力で関わって行くこととなります。そこは、「自分で決定できる自由」とその決定した行為に対する「責任と義務」が要求される世界です。「大人」になって行く過程で誰もが経験し、学んでゆく過程です。

九里学園の三年間で、皆さんはそのための準備を十分に積み重ね、身に付けてきている筈です。自信を持って旅立ってください。

そして、新しい社会での新しい人々達との関わりを通して「今まで気づかなかった自分を発見」しさらに大きく成長してください。

素直な出会いをたくさんしましょう。その出会いと経験が、貴方の「夢の実現」に役立ちます。楽しく、頑張ってください。

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。

皆さんは、春から大きな希望を胸にそれぞれの道を歩みそして様々な経験を重ねていく事でしょう。そんな中で心から感動し「この瞬間のために自分は生まれてきた」と思うような嬉しい事もありますし、逆に辛く感じるような苦しい事もあると思います。しかし、その事の一つ一つが皆さんの成長していく上でとても大切なことなのです。人生とは、始めから造られている道を進むのではなく、進みながら自分で造っていくのです。若いうちはいくらかでもやり直しができます。何事にも恐れず、好奇心を持って様々な事に挑戦し自分を信じて、一步一步自分の思い描く未来にむけて歩んでください。

希望を持って力強く羽ばたいていく皆さんの未来に幸多かれとご祈念いたします。

卒業おめでとう

～ はばたく君たちへ ～

はざードランプ

第三学年主任 富樫 宏之



皆さんが手にする卒業証書には29の文字が書かれています。要約すると「本校において高等学校

の課程を卒業したことを証する」と書かれています。皆さんの貴重な経験や学びはその29文字の、文字と文字の間に「ぎっしり」と詰まっています。感謝の心を胸に、これから出会う多くの人を信じて、その何百倍も自分を信じて歩んでください。

話は大きく変わり、突然ですが、「ハザードランプ」は知っていますか？車の中の赤い三角のボタンを押すとウインカーが左右同時に点滅する、あれです。運転しない方や、免許取りたての方にとっては「いつ使うの？」という方もいるかと思いますが、運転歴二十五年の私にとってはいろいろなシーンで目にします。どんなシーンで目にしたり活躍するかというと、道を譲ってくれた車にお礼の意味をこめたサンキューハザード？、渋滞の最後尾に着くからスピード減速するよ、の減速ハザード？、駐車場内で混雑時に車が連なっていて動いている中で駐車するから後続車ちょっと待って！のリバースハザード？などです。

本来の目的は、非常時に点滅表示し後続車に知らせる非常用として取り付けられたものだと思いますが、今では本来の目的以外で多く使われるようになりました。さらにボタンの場所ですが、年配の方

？は記憶にあるかもしれませんが、昔の車はハンドルの付け根部分にボタンがあつて非常に押しにくい（上げにくい）場所にあるイメージですが（今の私の車です）、今の車は運転席と助手席の間、目立つ場所にあり、万が一のときに助手席からでも操作できるようになっています。

さて、依頼された原稿字数に近づいてきたのでまとめますが、要は「ありがとう」の感謝の気持ち、謙虚な気持ち、人の気持ちを汲むなどの、人として、当たり前の生き方をしてほしい。決して偉（えら）ぶらず、驕（おこ）らず、人への思いやりも大事にし、時とタイミングにいいハザードランプを押したり押ししていただいたりしてください。

卒業 おめでとう

自分を育てる！

三年副主任 井澤 治



ご卒業おめでとうございます。厳しい社会の中で生きていくためには、自分ができていることを少しずつでもいいので確実に増やしていくこと。そのためにはどんな時でも学ぶ姿勢を大切に、ステップアップを心がけてください。みなさんそれぞれが進む道に、明るい未来が切り開かれていくことを心から祈っています。

一生勉強です

三年副主任 本田 米子



高校三年間は充実した日々を送ったでしょうか、入学当初と比べ今の

自分とはと、自問自答してみてもいい。完全燃焼できた人、もう少しやれば出来たかもと悔やまれる人、大小にかかわらず各々のドラマがあったはず。今後は、そのドラマを基に軌道修正しながら、十年後、二十年後の自分を描き立派な社会人を目指して下さい。

ご卒業おめでとう

三年副担任 佐藤 由美



ご卒業、本当におめでとうございます。

三年前、皆さんが九里学園に入学してくるのを在校生と先生方で、心待ちにしていたのを思い出します。目まぐるしく月日が経ち、最終学年ではそれぞれ、素晴らしい進路を決めることができました。これからは、九里学園の卒業生として立派に人生を歩んでください。



『我以外皆我師』



担任
横山 明良

卒業おめでとう。高校三年間で多くの仲間・先生と出会い、多くを学んだことと思います。これからの人生で、人から学ぶことは沢山あります。それらを生かすも殺すも自分次第です。有意義な人生のために、真摯な態度で、素直な気持ちで人の話しに耳を傾け、ますますの成長に期待します。



『ありがとうを言える自分に』

太田嵐太郎

僕は九里学園に入学し、礼と譲を学ぶことで、「ありがとう」という言葉の大切さを感じるようになった。親に送迎をしてもらった時に何気ないことだけど、「ありがとう」と言えるようになったということは、自分にとってとても大きな収穫だと思っています。九里学園で学んだ三年間は私にとってかけがえない宝物です。



『卒業』

遠藤善太郎

入学の喜びも束の間、自分達三年生は、もう少して卒業です。いろんな面で未熟な自分を支えて下さった友人や先生方、迷惑をかけてきましたが、あたたかい目で見守っていただきありがとうございました。

横山先生、友人のみなさん本当にありがとうございました。



『九里での三年間』

岡崎 凌弥

私はこの九里学園で三年間陸上競技に打ち込んできました。毎日の練習は辛く、苦しいことが多々ありましたが、その分私を人間的にも、一人の選手として成長させてくれました。最終的に目標としていたインターハイに進めませんでした。悔いは残っていません。九里学園の恵まれた環境で陸上をすることが出来て、良かったです。



2組

卒業おめでとう

担任
佐藤源太郎

三年間でどんな経験や思い出ができたでしょうか。人生は一人一人違います。感じることも、思うことも多くの考えがあって良いはずで。これから先はもっと多くの考え方を持った人と出会えるはずです。そんな出会いから自分を成長させてほしいと思います。チャンスがあればいつでも変われる・成長できる。チャンスは自分で気が付くと、いつでもそばにあります。これからの人生多くの人がから多くのことを学び続けられる人になってほしい。



『進路に向けてクラス一丸で』

がんばった就活

金子 真也

私のクラスは就職希望者が多く、夏休みもほとんど毎日学校で講座、夏休み明けも毎日夜遅くまで履歴書を書いたり面接練習をしたりしました。一人が困っていたらみんなで助け合いながら就活をしました。私もみんなの支えがあつて合格することができました。三年二組はみんな仲間思いでおもしろい人ばかりのいいクラスでした。

『クラスメイト』

小林 勇士

私は体育祭や九里祭などの行事に、クラスの人と協力して取り組み、クラスの人と協力して取り組み、模擬店での営業や体育祭のリレーでの協力、百人一首で私が選手として出場した時に多くの人に応援されたりと、楽しい思い出を作ることができました。

私は良いクラスに支えられて生活できたことに感謝しています。

『感謝』

阿部 尚斗

入学してから二年半「野球」に力を注いできました。つらく辞めたくなったときは仲間と支え合い、その度にチームの雰囲気が強くなつていったと思います。

全力で臨んだ甲子園予選では三回戦敗退という結果でした。目標は達成できませんでしたが様々な経験をさせてくれた野球への感謝を忘れず生活していきたいです。





Sun Sun 三組



担任
樋渡 理志

クラスマッチではのがした優勝を体育祭では競技の部優勝、そして応援賞も頂き完全優勝。交わした生徒たちとの約束は満足したかわかりませんが何とか果たしました。続く百人一首でも日頃の練習の成果が出て見事優勝。さてクラスオブザイヤー一位にはなれるでしょうか。ともかく三組みんなの力の結果がたくさん見れた一年でした。



『一年間をふり返って』

我妻 美咲

九里を引っぱる最高学年となり、毎日がとても充実していました。三年間練習に励んだ部活動。

クラスの全員で取り組んだ行事。初めて経験したホームステイ。

思い出が沢山ありすぎてここには書ききれません。これからは、それぞれの進路に向かいバラバラになりますが、九里での思い出は私の一生の宝物です。

『全力疾走の三年間』

横山 怜

秋に行われた体育祭は、私達にとって最後の体育祭でした。そのため個人競技の自主練習、クラス応援などに力を入れ、一致団結して取り組むことができました。クラスだけでなく、学年対抗競技でも三年生の意地をみせつけ、私たちのクラスは総合優勝と応援賞を勝ち取ることができ、最高の思い出をつくることができました。

『勝利への執着心』

横山 貴穂

私たち三年三組は今年度の百人一首クラスマッチで優勝することができました。十二月、選手全員が進学先に合格したのをきっかけに練習を始め、メキメキ上達したこと、進学クラスならではの勉強で兼ね備えた暗記力を持つ負けず嫌いのチームになれたこと、仲間との絆を再確認させてくれたこのクラスマッチに感謝しています。



4組

「絆」を大切に！



担任

鈴木 幸英

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう！いよいよ社会という荒波に船出する時が来ましたね。これからは、この三年間で築いた仲間との強い「絆」を大切に、九里生であることの誇りと自信を胸に、社会にしっかりと根をおろし、自分なりの花を咲かせて下さい。皆さんの活躍を心よりお祈りしています。



『高校生活を通して』

高橋 阿子

私にとつての三年間は、とても早いものでした。勉強や部活、委員会などに積極的に取り組み、毎日が充実していました。中でも私が一番思い出に残っているのは、クラスマッチや体育祭なので行事です。行事を通してそれぞれのクラスが団結し、絆がより深まったと思います。そして最高の思い出ができました。九里大好き！

『充実した三年間』

嵐田真由美

高校へ入学し、初めての事ばかりで不安がともありました。特に人間関係に不安をもっていました。ですが、部活動や学校行事を通して、一生忘れることのできる思い出を共有できる仲間ができました。学年があがるにつれ、大変な事が多くなってきましたが、私にとつてこの三年間は充実した日々だったと思います。

『宝モノ』

五十嵐友里

私は、もうすぐで卒業します。九里学園に入学してから、今日までの日々は本当にあつという間に過ぎて、その分とても楽しい毎日でした。入学した頃は不安だった友達関係もいつの間にか打ちとけ合せて今では大切な私の「宝モノ」です。先生方にも感謝でいっぱい。九里に入学して心の底から良かったと思います。Thank you!



最高な仲間



担任
長谷川和美

卒業おめでとう。穏やかで、個性豊かな三年五組の仲間達。毎日が笑顔で溢れていました。進路で大変な時、行事で一つになる時、全員が心をひとつにできました。みんなの力がひとつになり、大きなパワーをもらいました。担任としても本当に感謝しています。ありがとうございました。これからも笑顔で満たされた素敵な女性になって下さい。



『将来に向け、今できること』

加藤かおり

高校生活三年間、様々な活動を通して多くの事を学ぶことができた。被災地ボランティアに参加し、多くの人と接し、何があっても前を向いて生活している人々の姿を見て自分たちから出来る事は何か考えることができ、改めて協力し支え合うことの大切さを学ぶことができた。今後、一人一人の『夢』実現にも生かしていきたい。

『三年間の感謝』

島崎 千尋

高校生活の三年間を終えて、たくさんの人に感謝の気持ちを伝えたいです。先生方、同じ学年のみんな、後輩達、たくさんの人とかわりたくさんの人のおかげで本当に本当に楽しく充実した毎日をおくることができました。どんな出来事も私にとってはとても大切な思い出です。三年間、本当にありがとうございました。

『私の思い出』

南齋 美月

私は三年間、陸上競技部に所属をしていました。辛い練習でも仲間がいたからこそ頑張ってこれたと思います。また、三年五組のみんなとは、たった一年間だったけれど、毎日がとても楽しくて、卒業して、離ればなれになるのが寂しいです。たくさんさんの思い出をありがとう。絶対みんなが集まって遊ぶね。みんな大好き。



6組

卒業おめでとう



担任

片平 淳

いつかこの日が来ることは分かっていたと思いますが、いざその時だと思っても寂しく感じますが、君たちにとっては門出の時。明るく笑って涙を拭いその旅立ちをお祝いしたいと思います。クラス替えも無く、気の知れた仲間で過ごした三年間だと思いますが、毎日が楽しかったのではないのでしょうか。またどこかで全員で再会できることを願って、しばらくの間だけ「さようなら」。



『三年間の思い出』

鈴木 崇史

私の高校三年間で一番の思い出は、九里祭実行委員長としての活動です。困難な事も多くありましたが、たくさんの方の協力のおかげで、無事成功することが出来ました。

また、その他の生徒会活動にもご協力いただきありがとうございます。進学後も精一杯がんばりたいと思います。

『がんばったこと』

沼沢 練

私が三年間でがんばったことは部活です。部活ではサッカー部に所属し、三年間活動してきました。勝つことは難しかったのですが、仲間と過ごした時間は自分にとって大きな糧となりました。最初は入るかどうか迷ったのですが、今では入ってよかったと思います。誘ってくれた顧問の先生に感謝したいです。

『三年間を振り返って』

樋口小百合

あつという間の三年間でした。この三年間は非常に充実しており、部活動や学習、友人との思い出でいっぱいです。九里だったからこそ学べたことは多く、大きく成長できたと思います。切磋琢磨し合った部活動の仲間、毎日笑っていたクラスの皆、親身に指導してくださった先生方に出会えたことを幸せに思います。ありがとうございました。



卒業おめでとう！

顧問からのメッセージ

焦らず、慌せず、諦めず！

陸上競技部 本田 米子

三十七年連続インターハイ出場の偉業を成し遂げた陸上部ですが、一人一人が本気で必死に真剣に取り組んだ成果だと思えます。個人競技であつても決して一人では強くなれないと、口癖のように言ってきました。チームワークを大事にしながら「皆で強くなろう」の相言葉のもと、良い雰囲気と環境があつたからチームとして、個人としても充

実した活動が出来たのだと思っ
ています。

今後、挫折しそうになったら、
焦らず、慌せず、諦めずの心を
思い出して、上を向いて歩いて
行って下さい。

「仲間力」を磨いた三年間

硬式野球部 高橋左和明

三年生野球部諸君、卒業おめ
でとう。あつという間の三年間
だったのではないのでしょうか。
最上級生の君たちは創部初の春
季東北大会出場を果たし、九里
野球部の新しい一ページを刻ん
でくれました。個々の技術や才
能ではなく、チーム九里として
「仲間力」を磨いた君たちだけか
らこそ達成できたのではないで
しょうか。目標をしっかり設定
し、達成の為に一心不乱に努力
することは、これからの長い人
生においても何ら変わることは
ありません。新たな目標に向け、
「やりきる」ことを期待します。

あとちょっぴり...

バドミントン部 高木ユキエ

髪を伸ばしたいみんなに、休
養する時間を一分でも多くとれ
るよう短くせよと言ったね。勝
つために、朝練・放課後練・夜
練頑張ろう！と言ったね。疲れ
た日も勉強で追いつめられた日
もあつたことでしょう。そうい
う中で、仲間同士支えあつてよ
くやってくれました。

大会では、あとちょつとで優
勝というのを何度も経験しまし
たね。他人から見れば、あと
ちよつとなのに、なぜ勝てない
のかと思うかもしれない。でも、
スタート地点で百M離されてい
たチームが、ゴール地点一M差
まで追い付けた努力を私は誉め
たい。采、郁美、由奈、志緯菜、
莉紗、夏実よく頑張りました!!
そして、今まで部を引っ張って
くれてありがとう!!

感謝

女子バスケットボール部 鈴木 幸英

「3・11東日本大震災」という
大災害から一ヶ月後の入学。春

先の遠征が全て中止になる中で
の練習再開。不安を多く抱えの
スタートであつたが、君達は、
意欲的に、そして、前向きに活
動に取り組んだ。また、各大会
での活躍。常にご両親に支えら
れ、励まされてきたと思う。

忘れないで欲しい言葉がある。
「感謝」という言葉である。感謝
の心があるから物を大切にす
る気持ちも、人に対する謙虚さも、
生きる喜びも生まれてくる。こ
の言葉を大切に、光り輝く女性
になる事を願っています。卒業
おめでとう。



加地明日香さんへ

水泳部 岩谷 義彦

あなたは先輩と入れ違いの形で、たった一人で受け継いだ九里学園水泳部の名前を、インターハインの掲示板に表示させることが出来ました。泳いでも、泳いでもタイムが伸びず、ケガに苦しみ、それでも諦めずに、自分と周囲を信じて一生懸命に励んだ三年間は、本当に賞賛と尊敬に値するものであると思います。いつかも話しましたが、あなたの最大の武器はスピードでもスタミナでもなく、その真摯さ、直向きです。それが多くの人を惹き付け、気付けば学校や県の枠を越えてたくさんの人があなたに声援を送っている、そんな場面を三年間見て来ました。あなたはスポーツを通じて、見ている人に感動と一体感を与えることができる、本当に素晴らしい資質を持っていると思います。どうぞこれからもその姿勢を忘れずに、大学でより一層活躍されることを期待しています。



工藤 綾華さんへ

体操部 岩谷 義彦

今改めて振り返ると、当初はたった一人しか部員が居らず、一年生ということもあってか、大会や遠征でも、とても緊張している様子だったと思います。しかし、先輩ができてチームとして活動する中で、一年生の時には見えなかった様々な面が見えてきました。最も印象に残るのは、演技中の笑顔や、常にみんなの雰囲気をも明るく盛り上げる前向きさと明るさ、まさに、「華」のある性格です。一方で、常に礼儀正しく、時間を守り挨拶を欠かさない姿は後輩たちの手本となるものでした。九里学園体操部にとっては、綾華さんが卒業を迎えてしまうことが残念でなりません。これからもその明るさと礼節を大切に、大学でも「華」を咲かせてくれることを期待しています。



君ならでできる

テニス部 片平 淳

最上級生になってからの活動は、さすが先輩だな〜と思って見えていました。しかも、たったひとりの三年生として部をまとめてくれたことは、これからの人生の中で大きな自信につながるのではないのでしょうか。自分が達成できなかったことは後輩に託し、部活で学んだことを実社会の中で生かしていった下さい。三年間お疲れ様でした。

卒業する皆さんへ

吹奏楽部 根津 利栄

卒業おめでとうございます。皆さんがさまざまなことに悩みながらも、決してあきらめずに音楽を続けてきたことに敬意を評します。これからも更なる困難に出会うことがあると思いますが、吹奏楽部での経験を活かし、何事にも自信を持って挑戦して下さい。陰ながら応援しております。



卒園おめでとう

ダンス部 鈴木 涼子

「時代は変化しても、変わらぬ大切なものをダンスで表現したい。」と言った三年生の言葉を今でも覚えています。そして、約四ヶ月かけて、創った作品はとても素晴らしいものになりました。

人生は、長い一つの舞台です。今後も思い悩むことはたくさんあるでしょう。でも、目には見えない人と人との関係性を、目に見える距離感で表現しようとする模索した日々を忘れないでください。人との違いを恐れず、人と関わり表現し続けることの大切さを信じて、これからの人生を歩んでいってください。



赤十字の精神を心に刻んで：

JRC部 長谷川和美

今年度は、地域、人々との関わりを大切にして、自分ができる事を心を込めて行うことを部員ひとりが一人が意識して活動してきました。被災地へのボランティア、仮設住宅への訪問を通して、被災者の皆様との心の交流をすることができました。この繋がりを大切に継続した交流をしていきたいと思っています。又、福島から避難されている方々との交流もできました。託児所やおやつの販売を行い、復興支援に力を入れてきました。多くの方との触れ合いを通して、私達も沢山の笑顔に出会いました。これからも心の繋がりを大切にしたい活動ができるJRC部でありたいと思います。



ありがとう

茶道部 町田 悦子

茶道部はこの一年、県高等学校総合文化祭に向けて、一段とお稽古に精を出しました。各自が目標を持ち、協力し合って活力ある部活動ができたのは、部長の吉田吏沙さんの三年生としての自覚と指導力があつたからです。三年間実によくお点前を習得し、後輩たちを導いてくれました。ありがとう。後輩たちも吉田さんの後を継いで、来年度も地道な練習を繰り返しながら、各自頑張っていくことでしょう。さらに、日本の伝統文化を学ぶ時間を大切にしてほしいと願っています。



御卒業おめでとうございます

書道部 遠藤 愛

四月から書道部を担当することになり、三年生の皆さんと過ごす時間は、あつという間に過ぎていきました。今年度は県高文祭が置場で行なわれたため、共同作品制作や会場設営など大変だったと思います。その分学ぶことも多く、いい経験が出来たのではないのでしょうか？これからは自分の行動に責任を持つていかなければなりません。一人一人、自分が決めた進路で皆さんの技術や知識を習得し、社会に貢献できるよう頑張ってください。御卒業おめでとうございます。



次なるステップに向けて

美術部 樋渡 理志

今年度の地区高美展では二位にあたる特選、県高美展では審査員特別賞をいただくことができました。これも制作した安部君のみならず部員一人ひとりの努力の賜だと思えます。目標である全国大会には届きませんでした。大会以上に作品に思いを込めた力強い作品を描いてくれたことがとてもうれしく思いました。これからの三年生が残してくれたすばらしい九里美術部の伝統を受け継いでいってほしいと思います。



平成二十五年度 第三学年褒賞受賞者

() 内の数字はクラス名

● 学習活動優秀賞

伊井大河(1) 遠藤一樹(1) 横尾 優(5) 米山未香(5)
 太田嵐太郎(1) 大場貴史(1) 鈴木崇史(6) 高山佳奈(6)
 岡崎凌弥(1) 金子拓海(1) 沼沢 練(6) 樋口小百合(6)
 須貝佳祐(1) 鈴木裕士(1) 古田七海(6)

横尾 優(5) 米山未香(5)

● 特別教育活動〈優秀賞〉

陸上競技部
 岡崎凌弥(1) 竹田悠真(1) 林崎正樹(2) 山口将太(2)
 渡邊久弥(1) 曳地祐介(1)
 村上加奈(3) 村山志織(3) 石塚成爽(3) 伊藤ひかる(3)
 高橋里奈(4) 佐藤結花(5) 小父内莉麻(3) 土屋沙希(3)
 南齋美月(5) 早川真帆(5) 嵐田真由美(4) 北見彩音(4)
 高山佳奈(6) 森 美景(4) 神保涼夏(5)

◆ 陸上競技部

◆ 女子バスケット部

● 特別教育活動〈功績賞〉

阿部尚斗(2) 井上雄一郎(2)
 小林勇士(2) 高橋 志成(2)
 瀧澤直哉(2) 中神 翔(2)
 山口将太(2) 石塚成爽(3)

◆ 陸上競技部

山木伝説(1)

◆ 弓道部

● 特別教育活動〈功労賞〉

加地明日香(3) 齊藤さり(3)
 高木夏美(3) 高橋 ひとみ(3)
 横山貴穂(3) 横山奈保(3)
 我妻美咲(3) 青柳美咲(4)
 川合このみ(4) 薩佐澄美(4)
 佐藤 ゆかり(4) 高橋 真優香(4)
 色摩郁美(5) 早川真帆(5)

高橋 花菜子(3) 青柳美咲(4)
 佐藤 ゆかり(4) 山田 悠梨子(4)

◆ 体操部

工藤綾華(3)

◆ 陸上競技部

丸山美都(3)
 高橋 さおり(4)

◆ 美術部

安部 孝(2)

◆ 硬式野球部

◆ 水泳部

加地明日香(3)

伊井大河(1) 伊藤大貴(1)
 遠藤一樹(1) 大場貴史(1)
 須貝佳祐(1)

伊井大河(1) 伊藤大貴(1)
 遠藤一樹(1) 大場貴史(1)
 金子拓海(1) 須貝佳祐(1)

◆ 茶道部

吉田吏沙(3)

◆ 新聞部

樋口 晃(2)

特別教育活動〈努力賞〉

◆吹奏楽部

伊藤 慶子(3) 加藤 ゆい(3)
 高木 夏美(3) 長谷部 有希(4)
 黒澤 可乃(5) 加藤 かおり(5)
 我妻 美咲季(5)

◆ソフトボール部

横山 怜(3) 我妻 美咲(3)
 金子 綾菜(5) 島崎 千尋(5)
 目黒 穂乃花(5) 雨田 織穂(6)

◆バレーボール部

高橋 ひとみ(3) 林部 明日香(5)

◆英語部

横山 貴穂(3) 佐藤 歩(3)

◆サッカー部

太田 嵐太郎(1) 佐藤 宏輔(1)
 齋藤 拓夢(2) 沼沢 練(6)

◆JRC部

伊藤 美莉愛(4) 外山 寧々(4)

◆保健厚生委員会

佐藤 ゆかり(4) 青柳 美咲(4)
 林部 明日香(5)

◆バドミントン部

高橋 志緯菜(3) 色摩 郁美(5)
 鈴木 由奈(5) 小口 夏実(5)
 赤木 莉紗(5) 伊藤 采(6)

◆硬式野球部

伊藤 聡(1) 井上 雄一郎(2)
 高橋 裕貴(2) 中神 翔(2)

◆生活科学部

中村 愛莉沙(6)
 ◆書道部
 山口 里歩(4) 藤 佐澄美(4)

◆図書委員会

山口 暁(1) 吉田 吏沙(3)
 米山 未香(5)

◆男子バスケットボール部

我妻 聖哉(2) 瀧澤 直哉(2)

◆卓球部

遠藤 善太郎(1) 登坂 恵太(1)
 片倉 寛隆(2) 金子 真也(2)

◆生徒会

戸松 直矢(1) 樋口 晃(2)
 登坂 恵太(1) 佐藤 歩(3)
 寒河江 希望(3) 加地 明日香(3)
 高橋 花菜子(3) 工藤 綾華(3)
 藤 佐澄美(4) 堀越 遥(5)
 神尾 優子(5) 鈴木 崇史(6)

◆テニス部

長谷川 はづき(4)

◆イラストアニメ愛好会

鈴木 裕士(1)

◆陸上競技部

後藤 里香(3) 樋口 小百合(6)

◆ダンス部

磯 葉月(3) 五十嵐 友里(4)
 高橋 阿子(4)

◆弓道部

山口 暁(1) 嶋 貫 初(1)
 小林 勇士(2)

三年間皆勤賞

- 伊藤 大貴(1) 渡邊 久弥(1)
- 安部 孝(2) 中神 翔(2)
- 伊藤 ひかる(3) 工藤 綾華(3)
- 早川 亜希(3) 村上 加奈(3)
- 山田 悠梨子(4) 色摩 郁美(5)
- 米山 未香(5) 我妻 美咲季(5)
- 高山 佳奈(6) 樋口 小百合(6)

精勤賞

- 岡崎 凌弥(1) 立花 鴻(1)
- 曳地 祐介(1) 井上 雄一郎(2)
- 尾形 利樹(2) 石塚 成爽(3)
- 磯 葉月(3) 加地 明日香(3)
- 高木 夏美(3) 伊藤 美莉愛(4)
- 川合 このみ(4) 薩 佐澄美(4)
- 佐藤 ゆかり(4) 高橋 阿子(4)
- 山口 里歩(4) 赤木 莉紗(5)
- 島崎 千尋(5) 早川 真帆(5)
- 雨田 織穂(6)

読書感想文最優秀賞

○不幸↓幸

薩 佐澄美(4)

○サマー・ランサーを読んで

永 峯 穂(1)

○ひたむきな人々がれき

安 部 孝(2)

読書感想文優秀賞

○イチロー頭脳を読んで

阿 部 尚斗(2)

○脳死で知った家族愛

渡 邊 久弥(1) ○わたしはわたし

○奇跡のリングを読んで

石 塚 成爽(3) 高木 夏美(3) ○二人の旅路

○千人の孤児とともに

佐 藤 ゆかり(4) 加藤 かおり(5) ○出会いを大切に

○「人」との思い出

高 山 佳奈(6) 早川 真帆(5) ○強い意志

- 遠藤 一樹(1) 鈴木 裕士(1)
- 山木 伝説(1) 金子 真也(2)
- 小林 勇士(2) 高橋 尗成(2)
- 高橋 ひとみ(3) 横山 奈保(3)
- 青木 さやか(4) 青柳 美咲(4)
- 高橋 さおり(4) 長谷川 はづき(4)
- 加藤 かおり(5) 小口 夏実(5)
- 南 齋 美月(5) 伊藤 采(6)
- 鈴木 崇史(6)

読書感想画佳作賞



平成二十五年度 進路状況について

進路指導課長 遠藤 英

今年度の進路希望は、進学が三分の二、就職三分の一と、昨年とほぼ同じ割合です。

大学・短大進学は、全体の三二%を占め、分野は文系が八割弱、理系・体育系が二割強となっています。学部は多様ですが、医療・福祉・社会系分野や幼児教育分野が多いのは例年同様ですが、栄養学専攻の希望が多いのが今年度の特色です。入試方法では、AOや公募、指定校推薦の割合が増えています。就職難の中、上級学校でも力のある学生を求める声が上がっており、AO・推薦試験でも一定の学力を身につける必要性が高まっています。

専修学校進学は、全体の四一%を占め、分野は、医療看護と調理が圧倒的に多く、次に事務系が多くなっています。専門学校への進学については、将来の職業を見据え、間違いのない分野選択・学校選択ができるよう指導しています。就職は、県内は過去一〇年で最多といわれる昨年度を上回る

求人が出されました。建設業の持続的な求人増加に加え、求人を探えてきた中小の企業が技術継承のために一斉に求人を出したためと見られます。アベノミクスを受けた経済の変動から、いまを好機ととらえたものと考えられます。しかし、職種により好況・不況の差が大きく、今後の見通しは不透明です。また、県外は本校との信頼関

係が厚い企業から今年も求人を探ることができましたが、企業によっては震災以降、より高いレベルが求められるようになっていきます。進学、就職とも、生徒の皆さんの進路実現への真剣な取り組みに加え、保護者の皆様のご支援をいただきましたことに深く感謝いたします。

◆H25年度卒業生の進路別状況◆

平成26年2月20日現在

	就職希望者			進学希望者				家事その他	合計
	県内	県外	小計	大学	短大	専修各種	小計		
男子	15	9	24	14	2	16	32	1	57
女子	16	13	29	20	12	30	62	2	93
合計	31	22	53	34	14	46	94	3	150

◆就職関係（内定状況 公務員を除く）◆

	県内希望				県外希望				合計			
	学校幹旋 内定者	緑故	緑故 内定者	緑故 内定者	学校幹旋 内定者	緑故	緑故 内定者	緑故 内定者	学校幹旋 内定者	緑故	緑故 内定者	緑故 内定者
男子	14	14	1	1	6	6	1	1	20	20	2	2
女子	16	16	0	0	13	13	0	0	29	29	0	0
合計	30	30	1	1	19	19	1	1	49	49	2	2
内定率%	100%				100%				100%			

※公務員は男子県内0・県外2（計2）採用内定2名（100%）

◆進学関係（合格状況）◆

	大学		短大		専修各種		合計	
	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数
男子	14	13	2	2	16	13	32	28
女子	20	17	12	12	30	29	62	58
合計	34	30	14	14	46	42	94	86
合格率%	88%		100%		91%		91%	

編集後記

今年も厳しい雪の季節を乗り越え、暖かな春がすぐそこまで来ています。三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。今回の二五七号は今年度最後の学園通信になりました。先生方からは心のこもったメッセージが、卒業生からは三年間をふり返っての思い出がたくさん寄せられています。これから別々の道へ進み、新しい勉強や職場に向かい、つらい事や寂しい時もあると思いますが、そんな時には思い出して先生方の言葉を読んでみて下さい。ここには応援してくれる人達がたくさんいます。皆さんの活躍を期待しています。

（加藤）

